

2016 年 9 月 1 日～2021 年 3 月 31 日の間に 当科において緑内障手術治療を受けられた方およびご家族の方へ

ー「川崎医科大学附属病院における緑内障に対する流出路再建術の手術成績」

へのご協力をお願いー

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	眼科	副部長	家木良彰
研究分担者	川崎医科大学附属病院	眼科	医師	伊達悠斗
	川崎医科大学附属病院	眼科	医師	児嶋えり奈
	川崎医科大学附属病院	眼科	医長	瀬戸口義尚
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	山下 力
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	荒木俊介
	川崎医科大学附属病院	眼科	視能訓練士	後藤克聡
	川崎医科大学附属病院	眼科	部長	三木敦司
	川崎医科大学附属病院	眼科	部長	桐生純一

1. 研究の概要

当院では緑内障の術式として流出路再建術を第一選択として行ってきました。近年、流出路再建術の中でも様々な術式が登場して混在しています。そこで当院での流出路再建術の手術成績を再調査し、今後の緑内障手術治療の発展に貢献するために研究を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016 年 9 月 1 日～2021 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院眼科において緑内障に対して流出路再建術の手術治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2021 年 8 月 26 日～2024 年 3 月 31 日

3) 研究方法

2016 年 9 月 1 日～2021 年 3 月 31 日の間に当院において流出路再建術の手術治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術後の経過、成績について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：流出路再建術の術式、手術前後の眼圧、手術前後の点眼数、術後合併症の有無、年齢、性別、病型、視力、視野所見、既往疾患等

5)情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学教員研究室および眼科学1実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。尚、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 眼科

氏名：家木良彰

電話：086-462-1111 内線 44307（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1565

E-mail：iekky@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。